



おおや



10月号 R7.10.1

学校教育目標「心豊かでたくましい子の育成」

発行責任者
校長 田崎 守

上尾市立大谷小学校 上尾市大字大谷本郷 528 電話 048(781)0120

「たて」にほめる

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から語り継がれてきましたが、今年は、「お彼岸」の前後から暑さが和らぎ始め、休み時間に子供たちが校庭で元気に走り回る姿が見られるようになってきました。また、おおやビオトープでは、オミナエシの黄色い花が咲き、季節が秋に移り変わっていることを感じます。



ビオトープで咲くオミナエシ

さて、以前私は、講演会の中でほめるということに関する内容で話を聞いたことがあります。その中で、ほめる際には、「よこ」ではなく、「たて」にほめるとよいという内容を聞いたのを覚えています。「よこ」にほめるというのは、人と比べてほめること。例えば、「〇〇ちゃんよりたくさんできたね。」「〇〇さんより、上手にできていたよ。」ということがあります。一方、「たて」にほめるというのは、子供の過去と比べる中で、何ができるようになったかをほめることになります。例えば、「5月から頑張ってきた〇〇が、できるようになったね。」「去年より、〇〇なところが伸びているよ。」というように、その子の頑張り、努力してきたこと、達成できたことを伝えることになります。「たて」にほめることは、大人が、子供たちを継続させているということにもなりますし、子供たちの立場からすると自分のことを見てもらえているという安心感につながります。もちろん、「よこ」にほめることが有効な場面もあるかもしれませんが、子供たちがモチベーションを保ちながら、継続的に学校生活をおくるためには、「たて」にほめるというのは欠かせないと感じています。

本校では、今年度から通知表を渡す回数が2回になりました。1回目が、今週末の10月3日で子供たちの前半期の評価を通知表を通して、お渡します。年度の折り返しのこの時期に、子供たちのできるようになるまでの過程、頑張りを感じた点など学校生活について家庭で話をし、「たて」にほめる機会にしていただけると幸いです。子供たちにとって、後半期も頑張ろうというような気持ちを高める機会にしていただければと思います。

学校生活の中でも、教職員として児童の伸びや成長を「たて」の視点を忘れることなく、これからも児童を評価、ほめることを継続していきたいと思います。特に、10月以降は、音楽会や運動会をはじめ、大きな行事があり、児童の成果や成長をほめる機会がありますので、教職員もその視点を忘れることなく、取り組んでいこうと思います。後半期も、どうぞよろしく願いいたします。

